

令和5年度

# 事業報告書

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日



社会福祉法人 緑 風 会  
特別養護老人ホームしいの木の郷  
デイサービスセンターしいの木の郷  
居宅介護支援事業所しいの木の郷  
しいの木の郷訪問介護事業所  
ケアハウスしいの木の郷  
特別養護老人ホーム花ノ木の郷  
ショートステイ花ノ木の郷

## 1. 拠点の概要

(1) 拠点区分：しいの木の郷

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム しいの木の郷	平成11年 5月1日	介護老人福祉施設	50名
	令和 2年 4月1日		74名
社会福祉法人緑風会 しいの木の郷	平成11年 5月1日	短期入所生活介護 (介護予防)短期入所生活介護	10名
	令和 2年 4月1日		6名
デイサービスセンター しいの木の郷	平成11年 6月1日	通常規模型通所介護 総合事業通所型	20名
	平成30年 4月1日		18名
居宅介護支援事業所 しいの木の郷	平成11年10月1日	居宅介護支援	
しいの木の郷訪問介護 事業所	平成12年 4月1日	訪問介護 総合事業訪問型	
	平成30年 4月1日		

(2) 拠点区分：ケアハウス

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
ケアハウス しいの木の郷	平成11年 7月1日	軽費老人ホーム	50名
	平成26年11月1日		24名

(3) 拠点区分：花ノ木の郷

埼玉県桶川市加納1824-1

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	介護老人福祉施設	90名
ショートステイ 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	(介護予防)短期入所生活介護	10名
デイサービスセンター 花ノ木の郷 (廃止)	平成19年 5月1日	通常規模型通所介護 通常規模型通所介護	20名
	平成29年 6月1日		20名
居宅介護支援センター 花ノ木の郷 (廃止)	平成20年 4月1日	居宅介護支援	

## 2. 役員等

(1) 理事6名 監事1名 任期：令和5年6月28日～令和7年6月

役職	氏名	備考
理事長	篠田 實	
理事	篠田 浩一	
理事	関根 隆俊	
理事	畠山 義行	
理事	萩原 良久	
理事	山田 直樹	
監事	島田 規男	
監事	田中 孝幸	

(2) 評議員9名 任期：令和3年6月28日～令和7年6月

役職	氏名	備考
評議員	齊藤 美智也	
評議員	小阪 秀史	
評議員	木津 祐教	
評議員	篠田 登喜雄	
評議員	馬場 基	
評議員	篠田 竹史	
評議員	岩田 誠	
評議員	酒井 雄二	
評議員	篠田 孝一	

### 3. 理事会の状況

#### 第1回理事会

日 時： 令和 5年 6月14日 午前10時00分 ～ 10時55分

出席者： 理事6名 監事1名

審議事項： 第一号議案 令和4年度事業報告について  
第二号議案 令和4年度決算報告について  
第三号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて  
第四号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて  
第五号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて  
第六号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて  
第七号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて  
第八号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて  
第九号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて  
第十号議案 「田中孝幸」氏を監事に選任することについて  
第十一号議案 清掃業務委託契約について  
第十二号議案 定時評議員会の招集について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決の報告
  2. 花ノ木の郷大規模修繕工事について
- その他 新型コロナウイルスの対応状況について

#### 第2回理事会

日 時： 令和 5年 6月28日 午前11時00分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名

審議事項： 第一号議案 理事長の選定について

#### 第3回理事会

日 時： 令和 5年 9月27日 午前10時00分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名 監事2名

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長先決事項等の報告
- その他 時給単価最低額引上げに伴う職員給与水準格差の均衡確保等に関する対応について

#### 第4回理事会

日 時： 令和 5年12月22日 午前10時00分 ～ 10時40分

出席者： 理事6名 監事1名

審議事項： 第一号議案 清掃業務委託契約について

第二号議案 埼玉県介護福祉士修学資金貸付事業の連帯保証人となることについて

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決の報告

その他 新型コロナウイルスの対応状況について

#### 第5回理事会

日 時： 令和 6年 3月15日 午前9時55分 ～ 11時20分

出席者： 理事6名 監事2名

審議事項： 第一号議案 令和5年度補正予算（案）について

第二号議案 令和6年度事業計画について

第三号議案 令和6年度予算（案）について

第四号議案 役員賠償責任保険の契約について

第五号議案 評議員会の招集について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決の報告

その他 令和6年度介護保険法改正に伴う処遇改善加算の配分方法について

新型コロナウイルスの対応状況について

## 4. 評議員会の状況

### 第1回評議員会（定時評議員会）

日 時： 令和 5年 6月28日 午前10時00分 ～ 10時50分  
出席者： 評議員6名 理事2名  
審議事項： 第一号議案 令和4年度事業報告について  
第二号議案 令和4年度決算報告について  
第三号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて  
第四号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて  
第五号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて  
第六号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて  
第七号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて  
第八号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて  
第九号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて  
第十号議案 「田中孝幸」氏を監事に選任することについて

### 第2回評議員会

日 時： 令和 6年 3月28日 午前10時00分 ～ 10時55分  
出席者： 評議員6名 理事2名  
審議事項： 第一号議案 令和5年度補正予算（案）について  
第二号議案 令和6年度事業計画について  
第三号議案 令和6年度予算（案）について

## 5. 職員の状況

令和 6年 3月31日 現在

拠点名	正規職員	非正規職員	拠点計
しいの木の郷	44人	27人	71人
ケアハウス	2人	1人	3人
花ノ木の郷	49人	23人	72人
合 計	95人	51人	146人

（嘱託医は除く）

## 6. 事業別事業報告書

事業所名 **特別養護老人ホームしいの木の郷**

### 1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	145	155	1,830
要介護2	180	186	150	155	155	180	217	210	217	217	203	217	2,287
要介護3	680	744	685	682	682	690	629	600	620	621	551	558	7,742
要介護4	600	620	690	744	771	718	775	759	806	825	821	913	9,042
要介護5	605	589	545	558	532	484	519	501	496	481	428	451	6,189
小計	2,215	2,294	2,220	2,294	2,295	2,222	2,295	2,220	2,294	2,299	2,148	2,294	27,090

(延人数)

中止・外泊	41	20	28	122	137	87	74	75	120	245	191	184	1,324
-------	----	----	----	-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-------

(件数)

保険請求	75	75	75	79	77	76	73	74	76	72	74	72	898
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	4	0	1	0	2	3	2	1	0	5	2	2	22
終了	2	0	1	0	2	3	2	1	0	5	2	2	20

### 2. 概況及び動向

今年度はR6.1月2月に新型コロナクラスター発生。後遺症で入院する方や、身体機能低下も著しい。5類に移行したが、感染力も強く、高齢者にとってはまだ厳しい感染症である。他施設でもコロナの影響もあり、実調や移動を延期したことも多かった。老衰と主治医の診断を受け、看取り介護を選択して下さった方が4名。またICT機器(眠りスキャン、インカム)の導入を行い、より良い介護サービスの提供に向けて動き始めている。入所待機者はR6. 4月時点で120名となっている。

### 3. 課題

引き続き、正しい感染対策を行い、感染拡大を最小限にとどめる。  
ご家族や往診医と協同でケアに取り組み、看取り介護をより充実していく。  
介護技術向上のため、施設内外にて研修に参加し、必要な知識・技術の習得に力を入れる。  
またICT機器を活用し、入所者の状態を把握し情報の共有をスムーズに行い、適切な介護サービスを提供していく。

事業所名

社会福祉法人緑風会しいの木の郷

## 1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	15	0	0	23	0	0	0	0	0	9	47
要介護2	51	52	0	12	11	0	0	0	0	0	0	0	126
要介護3	12	24	41	45	17	29	36	71	79	31	14	40	439
要介護4	23	35	28	66	65	69	50	94	102	85	69	49	735
要介護5	0	0	40	18	7	12	15	9	7	8	11	11	138
小計	86	111	124	141	100	133	101	174	188	124	94	109	1,485

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求	12	9	9	10	4	4	5	2	2	6	7	5	75
------	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(実人数)

新規	12	6	8	9	3	5	7	5	3	7	8	8	81
終了	11	5	9	12	4	4	8	4	3	6	9	7	82

## 2. 概況及び動向

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたキャンセル等の利用控えがあるが、入所待機上位者に対してショートステイの利用を案内し、稼働率の向上を図った。また、緊急ショート要請に対しては柔軟に対応することができた。特養で新型コロナウイルスクラスターもあったが、稼働率は前年度+19.1%の67.6%となった。

## 3. 課題

新規利用者の獲得に向けて、令和5年度も各居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携を図っていく。新型コロナウイルスのため、ショートステイの利用控えもまだ感じられるが、緊急ショートへの柔軟な対応や入所待機上位者へのショートステイの案内等を引き続き行っていく。



事業所名

デイサービスセンターしいの木の郷

## 1. 月別・介護度別利用者数（延人数・延回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	20	18	17	18	18	16	17	13	17	8	8	9	179
支2相当	36	36	31	35	35	31	33	34	30	34	34	36	405
要介護1	94	82	78	78	86	85	88	71	65	70	71	77	945
要介護2	74	78	72	67	52	48	39	41	39	40	54	52	656
要介護3	33	31	41	46	55	51	55	67	61	49	73	87	649
要介護4	32	24	16	38	54	43	36	52	44	43	47	51	480
要介護5	21	25	20	23	22	22	17	19	22	18	7	8	224
小計	310	294	275	305	322	296	285	297	278	262	294	320	3,538

(延人数)

中止・外泊	50	31	33	38	31	38	45	24	21	39	11	23	384
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(件数)

保険請求	40	36	33	37	36	35	35	35	33	33	32	35	420
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	4	0	3	1	0	0	1	1	1	2	1	3	17
終了	4	2	1	0	2	1	1	3	3	1	0	0	18

## 2. 概況及び動向

令和5年度稼働率63.8%となり、前年比-8.5%となった。

長期入院や施設入所、死亡終了となるケースが多くあった。現利用者様もADL低下により介護介入量が増えてきている。稼働率は伸び悩むも、反面重度化してきている状態である。

## 3. 課題

稼働率の向上、新規利用者獲得に努めていく。

サービス提供の質の向上、法改正に対応すべく定期的なカンファレンスや勉強会を行っていく。

事業所名 **居宅介護支援事業所しいの木の郷**

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	56	54	56	56	56	55	50	52	51	50	53	58	647
要介護2	37	35	34	34	33	30	30	32	32	31	34	32	394
要介護3	27	24	24	24	29	30	32	32	31	28	28	32	341
要介護4	18	17	17	17	19	19	19	18	18	21	19	18	220
要介護5	7	10	11	11	10	12	10	8	9	6	6	4	104
小計	145	140	142	142	147	146	141	142	141	136	141	145	1,708

(延人数)

中止・外泊	3	4	5	11	6	6	5	7	4	4	4	3	62
-------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(件数)

保険請求	135	141	136	152	143	142	141	139	138	138	133	142	1,680
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

(実人数)

新規	11	3	2	11	2	1	4	6	2	3	7	9	61
終了	6	2	2	2	6	7	5	4	8	5	2	1	50

2. 概況及び動向

虐待ケースや支援困難のケースが多く、包括支援センターや、市役所と同行し何度も会議を開くことで解決をしていくケースもあれば医療の力を借りて連携しをしていくケースもある。

また事業所との情報共有がいかに困難ケースでは必要かを感じた1年であった。

難病やガン末期の患者には50代や60代の患者も増えているので、家族の気持ちや本人に対する理解を深め、高齢者と同じように支援をすることが出来ない為、若い利用者への精神面の対応が出来るように医療の勉強やコミュニケーション能力を向上させていくことが重要である。

3. 課題

- ・今後は、利用者の件数の見直しをすることで自分たちが何件まで担当が出来るのかを検討する。
- ・新たに癌の患者についてはターミナル加算などが取れるように内容を把握し加算を取っていきたいと思う。
- ・書類作成や訪問なども研修で言われてるように、最新の情報を取り入れて事業所の中で話し合いのようなことが簡素化につながるのか考えていきたいと思う。

事業所名 しいの木の郷訪問介護事業所

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	40	39	43	38	37	41	46	56	53	49	46	36	524
要支援2	52	53	57	52	61	55	54	52	53	45	44	47	625
要介護1	65	135	80	99	107	103	72	64	70	91	104	109	1,099
要介護2	25	29	35	47	54	68	75	91	106	103	98	93	824
要介護3	48	56	54	50	54	52	66	53	43	44	53	46	619
要介護4	40	88	102	32	9	83	9	9	9	8	8	0	397
要介護5	0	0	2	28	19	19	18	0	0	0	1	0	87
小計	270	400	373	346	341	421	340	325	334	340	354	331	4,175

(延人数)

中止・外泊	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	2	2	9
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(件数)

保険請求	41	45	48	49	47	47	48	50	53	49	50	47	574
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	3	0	6	3	4	1	1	0	1	3	5	1	28
終了	0	0	2	3	0	3	0	1	2	0	1	16	28

2. 概況及び動向

サービス提供責任者2名体制のよる利用受け入れ拡大により、延べ回数3350回から4175回  
 保険請求450回から574回と前年より上回ったが、ヘルパーの加齢や家庭事情の変化から稼働制限もあり  
 地域包括(ケアハウスを除く要支援者)の支援を終了した。

3. 課題

2名体制で努めてきたが、5月からサ責1名退職に伴い、1名体制となり、ヘルパー増員も難しく、加齢や家庭事情の  
 変化は変わらない為、新規受け入れ、また利用者のイレギュラーやADL低下に伴う支援追加等の対応に困難を  
 極める恐れがある。

事業所名

ケアハウスしいの木の郷

## 1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初人員	21	22	22	22	23	23	23	24	24	23	23	23	273
													0
													0
													0
													0
													0
													0
小計	21	22	22	22	23	23	23	24	24	23	23	23	273

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求													0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(実人数)

新規	2	1	1		1			1					6
終了			1							1			2

## 2. 概況及び動向

令和5年度は認知症症状の進行とADL低下により2名が退所となった。そのうち1名については精神的に不安定な方で、ご家族宅の近隣の施設へ入所となった。入居者の年齢と共にADL低下もある為、声掛けや見守りが必要になっている。入居の背景も多様化しているため、自身の意思で入居しても施設の方針に戸惑いを見せる方がおり、以前より、生活に慣れるまで時間が掛かってきている。

## 3. 課題

入居の相談はあるものの、家族の居ない単身者や疎遠の方も増えて来ているが、ケアハウスでは家族の協力が第一なので入居には至らない。最近の傾向では三郷市内の入居者が増えている。今後も、近隣の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対する周知も継続して行っていく。

## 1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	191	217	180	155	155	152	186	180	186	186	187	217	2,192
要介護2	240	248	300	304	279	270	310	244	264	302	310	319	3,390
要介護3	978	1,074	1,020	1,054	989	888	857	840	871	858	753	841	11,023
要介護4	690	678	621	654	713	761	829	855	899	837	785	851	9,173
要介護5	561	558	570	620	635	583	589	558	543	531	521	543	6,812
小計	2,660	2,775	2,691	2,787	2,771	2,654	2,771	2,677	2,763	2,714	2,556	2,771	32,590

(延人数)

中止・外泊	57	34	30	3	34	37	92	32	92	80	39	22	552
-------	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(件数)

保険請求	91	90	90	91	91	93	92	91	92	92	92	92	1,097
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

(実人数)

新規	2	2	2	1	1	6	2	1	4	2	7	3	33
終了	2	2	0	1	3	3	2	3	2	6	3	4	31

## 2. 概況及び動向

- 1 一年を通して職員の退職も少なく、退所後の入所調整もスムーズに行えたと思います。看取りも安定期に入り、御家族からも感謝の声が聞こえます。待機者は平均20名から30名弱で推移しています。入院による空きベット数はほぼ前年と変わらず、横這いとなりました。
- 2 最近の生計費の増嵩傾向に加え、今後の介護保険料の増額改定等介護を巡る経済環境を考えると、費用は高くともより良質な介護サービスを求める人と、限られた費用の中で良質の介護サービスを求める人の二分化が進行すると共に、費用対効果をシビア求めてくる利用者・家族も増加してくる考えられる。このため、当施設においては、これまでの感染症防止対策を維持しつつも、7月を目途に、入居者とその家族の交流機会や各種催しの復活等、他施設との差別化の促進を企図した取組の充実に努め、より入居者に寄り添った介護を職員一丸となって実践していくこととします。

## 3. 課題

- 1 近隣に特養がオープンし、待機者数が今後減少していくと見込まれます。したがって、安定した稼働を維持・確保のため、他施設との差別化促進により積極的に取組と共に、関係市町村や地域包括、居宅介護支援事業所等へのセールスポイントの発信・情報交換、営業活動をより密に行い、ショートステイ事業と連携した施設運営を確立していかなばならないと考えています。
- 2 当施設は、離職率が低く、介護福祉士の割合も82.05%(R6.4.1現在)と高い等良質で安定した介護サービスの提供が可能であるが、上述のような介護環境の変容や入居者・家族の介護ニーズの多様化に適切に対応していくためには、施設職員、特に介護職員各自の一層の自己研鑽と相互啓発意識の高揚に努めていく必要があります。また、施設として、職員のこのような努力・取組を支え、促し、インセンティブの維持・強化に資する仕組の充実・強化を更に進めていく必要があると考えています。

## 1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	0	8	0	0	0	0	7	0	20	11	0	50
要介護2	42	48	44	43	45	43	31	31	37	40	9	3	416
要介護3	71	62	60	62	77	90	136	100	116	138	130	134	1,176
要介護4	133	121	114	105	124	93	93	62	78	89	116	117	1,245
要介護5	60	62	60	68	55	56	58	71	63	6	12	0	571
小計	310	293	286	278	301	282	318	271	294	293	278	254	3,458

(延人数)

中止・外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(件数)

保険請求	14	13	12	11	12	11	11	12	13	14	13	11	147
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	3	2	1	1	3	0	1	1	3	3	2	2	22
終了	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	2	0	9

## 2. 概況及び動向

1 新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年11月より入退所を中止し、ロングショートのみ利用を継続とした。ロングショート希望者の多くは即時入所を希望するため、空きがない状態で待機者として抱えることは困難である。結果として、特養入居や病院への入院によりショートステイを退所となると待機者がいないこと、次の利用者の入所までに時間を要したことで、稼働率の低下を招いている。

2 11月度と3月度にはコロナウイルス・インフルエンザの蔓延による縮小運営や罹患した利用者入院等により、稼働率に大きな影響が及んでいる。

## 3. 課題

ショートステイとしての新型コロナウイルス感染症対策は形を変えることなく、経過しています。長期利用を希望する方の受け入れは8名までを定員と設定しています。ただし、短期利用の希望者が多いことや、新型コロナウイルス感染症が5類感染症と移行となったことも踏まえると、需要に応じた長期利用と短期利用の受入枠の見直しと共に、依然として衰えない感染症の予防対策の強化等、運営方法の最適化の検討が喫緊の課題となっています。

なお、「令和6年度の介護報酬改定に関する審議報告」においても、短期入所生活介護における長期利用の適性化について記されていることから、ショートステイ事業所として改めて地域のニーズに役立つ運営を目指すことが必要となっています。

事業所で行ってきた感染症対策を見直し、積極的に短期利用者の獲得を目指していきます。

1. 随時、空き状況を居宅介護支援事業所に周知するとともに、利用希望者に係るニーズの把握と相談に丁寧に応じる等、地域の要望に応えるとともに、稼働率を向上させていきます。

一方、感染症対策で受動的な運営となっている現在の状況を一新するため、令和6年度は利用者が楽しめる余暇活動やイベントの実施と利用者の要望を汲み取りながらより、充実した活動を行うよう努めていきます。また、ブログやインスタグラム等のSNSを活用した外部発信を引き続き行い、新規利用者の獲得にも注力していきます。

その実施に向けては、施設内感染防止のため、短期利用者の特段の理解と協力を得て共同スペース内のマスクの着用と手指の消毒の励行を実践してもらう一方、施設内で感染症状が出た利用者に対しては、必要な医療やケアを提供する観点や、感染拡大に伴うサービス品質の低下を避ける観点から、必要な感染対策や医療機関との連携体制を円滑に維持することに注力していきます。

2. 関わりの強い事業所とは継続してつながりを持ち、問い合わせがあった事業所や件数の少ない事業所には、丁寧な営業を行う必要がある。特に長期利用の適正化に向けて、より介護支援専門員と協働し、連携を図る必要があるため、これまで以上に周囲の居宅介護支援事業所との関係性構築を推進することが大きな目標となります。また、限られた介護報酬による運営であることから、減算となる事項に関しては、特養本体と相互に協議・連携をし、減算回避に資する適切な運営に万全を期していきます。